

3 キノボリトタテグモ

(トタテグモ科)

兵庫県ランク:A

Conothele fragaria

環境省ランク:NT

種の概要

体長雌10～12mm、雄8～10mm。あまり日光の直射しない社寺林の樹幹上や古木の樹皮上、低山の切り通しに、扉をつけた2～3cmの住居をつくる。本州南部、四国、九州、南西諸島、伊豆諸島、小笠原父島などに分布している。

県内における生息状況及びその他特記事項

北部、中部、南部、淡路島にかけて分布している。樹齢の古い大木の並ぶ社寺林に見つかることが多いが空の巣も少なくない。地表が過度に清掃された社寺林ではほとんど見つからない。

保護上の留意点

社寺林や古木の伐採などにより生息環境の減少が見られる。人為による環境変化のほかにムカデなどの天敵による捕食圧が見られる。

県内分布

神戸市、西宮市、宝塚市、川西市、三木市、姫路市、たつの市、豊岡市、養父市、新温泉町、丹波市、洲本市、南あわじ市

【執筆者】本庄 四郎



写真提供:(左)本庄 四郎(※巣穴を示す) (右)山本 一幸

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	
	捕獲	
特殊性	遺伝	
	特殊	○
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	○

